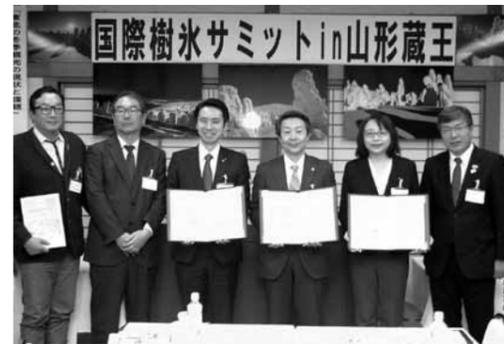


世界に誇る樹氷観光地に

国際樹氷サミット

「国際樹氷サミット」が、2月4日に山形市の蔵王温泉で行われ、北秋田市、山形市、青森市の市長らが参加し、連携を図りながら樹氷の魅力を発信していくことを誓いました。国際樹氷サミットは、世界的な絶景として知られ、冬の東北地方の大きな魅力となっている樹氷原を生かした観光を創造するため、日本を代表する三大樹氷形成地の青森市（八甲田連峰）、北秋田市（森吉山）、山形市（蔵王山）が、広域的に連携して国内外へ広く発信し、東北地方の良さが際立つ魅力ある観光地づくり



▲世界に誇る樹氷観光地宣言を採択し、東北三大樹氷の魅力の世界に発信

を目指すために、初めて開催されたもので、3市の関係者をはじめ、台湾やオーストラリアなど海外の旅行者約120人が参加しました。この日は、基調講演のあとパネルディスカッションが行われ、当市からは津谷市長と阿仁スキー場を運営するNPO法人森吉山の片岡信幸理事長がパネリストとして参加。「世界から見た東北の樹氷その魅力と価値」をテーマに、樹氷を生かした観光にかかわる課題や今後の取組みなどについて意見が交わされ、津谷市長は「森吉山の樹氷を観光資源としてPRするのが遅かった分、山形市や青森市と比べ認知度や取組みも遅れをとっているが、3市で連携しながら、しっかりと取り組んでいきたい」などと意気込みを示しました。最後に、世界に誇る樹氷観光地宣言が行われ「互いに連携協力し、樹氷の魅力にひかれ東北地方を訪れる人たちが、楽しさや喜び、ふれあいを感じ、充実した時を過ごすことができる『世界に誇る樹氷観光地』を創る」などとした宣言文に3市長が署名して採択し、世界に向けて日本三大樹氷の魅力を発信しました。

米生産数量目標の配分などを協議

北秋田市農業再生協議会臨時総会

北秋田市農業再生協議会（会長・津谷市長）の臨時総会が、1月27日に市役所本庁舎で行われ、JAなど農業団体の関係者が出席し、市の平成29年度米生産数量目標の配分方針などを協議しました。米生産数量目標は、国から示される都道府県別の生産数量目標を受け、県が秋田県農業再生協議会における協議を踏まえたうえで、市町村別の生産数量目標等の算定方針を決定し、その方針に基づいて各市町村における米生産数量目標と数量の面積換算値が決まります。



▲平成29年度米の生産数量目標の配分などを協議した、市農業再生協議会臨時総会

開会にあたり、津谷会長が「国が生産数量目標を配分するのは29年度が最後となり、30年度からは農業者が需要や販売戦略などに基づき決定することになる。30年以降、県農業再生協議会は生産の目安を示す方針ですので、それを踏まえJAなどと連携し、農家の皆さんが計画的に米の生産ができて、経営が安定するような仕組みづくりに取り組んでいきたい」などとあいさつしました。このあと議事に入り、事務局からは、国から秋田県に配分された29年度米の生産数量目標は前年比44.48トン減の40万8644トンとなり、市への配分は1万6089トンとすることが報告されました。また、北秋田市の平成29年度米生産数量目標の配分方針については、昨年同様に旧町別の共済基準単収を用いた配分方針とし、10アルあたりの基準単収を鷹巣535キロ、合川551キロ、森吉527キロ、阿仁485キロ、生産数量目標を鷹巣8777トン、合川4067トン、森吉2306トン、阿仁939トンとすることが提案され、原案のとおり承認されました。

阿仁マタギ文化を全国にPR

パートナー市町村連携協定締結式

北秋田市と株式会社ドリムリンク（村上雅彦・代表取締役）とのパートナー市町村連携協定締結式が、1月30日に市役所で行われました。

（株）ドリムリンクでは、秋田県と連携して県産品のブランド化や商品開発に取り組んでおり、その取組みの一環として、阿仁マタギのブランド化とジビエ流通を掲げ、東京都内に阿仁マタギ文化をテーマとした「アンテナショップ居酒屋」の出店を予定しています。

このたびの協定は、そのアンテナショップ居酒屋をとおして、当市の



▲協定書に署名して握手を交わして連携を誓う、村上代表取締役と津谷市長

クマ肉や山菜などの地場産品を使用したメニューを提供しながら、農林水産物の販路拡大や観光情報などの提供による誘客を推進し、北秋田市の活性化を図ることを目的としており、主に「食材の提案と活用」や「農産物等の産直システムの構築」、「阿仁マタギの伝承や認知度の向上」などを連携して取り組むとしています。この日の締結式では、津谷市長と村上代表取締役が、それぞれ協定書に署名して握手を交わし、津谷市長が「当市にはマタギ文化のほか、森吉山や内陸線、綴子太鼓、伊勢堂岱遺跡など、全国に誇れるものがたくさんある。協定締結を契機に、より一層連携を強固なものにして、首都圏をはじめ全国に北秋田市を発信していきたい」などとあいさつ。続いて、村上代表取締役が「阿仁のジビエをブランド化するため、クマ肉を使った新しい鍋の開発も考えている。貴重なマタギ文化を絶やさないといけないし、むしろ盛り上げていかなければならない」などと決意を述べました。*ジビエ（狩猟により、食材として捕獲された野生鳥獣やその肉のこと）

市長ダイアリー

◇1月16日～2月15日

- 1月16日（月）▽三浦欽一氏人権擁護委員委嘱状伝達式（本庁舎）▽東北電力（株）大館営業所・ユアテック鷹巣営業所街路灯寄贈式（本庁舎）
- 17日（火）▽北秋田市都市計画審議会（本庁舎）▽合川地区自治会長会総会（合川庁舎）
- 18日（水）▽北秋田地区交通安全協会交通安全祈願祭（市民ふれあいプラザ）
- 21日（土）▽北秋田市芸術文化協会新春交流会（市民ふれあいプラザ）
- 22日（日）▽第10回北秋田市民スキー大会（葉師山スキー場）
- 24日（火）▽北秋田市議会 全員協議会（本庁舎）
- 25日（水）▽バーディグリーン小山社長「走れ内陸線」CD・DVD贈呈（本庁舎）▽鷹巣阿仁青年会議所新年会（ホテル松鶴）
- 26日（木）▽北秋田市都市計画審議会会長答申書提出（本庁舎）
- 27日（金）▽鷹巣婦人会 新春交流会（市民ふれあいプラザ）
- 28日（土）▽北秋田市農業再生協議会 臨時総会（本庁舎）▽北秋田市建設業協会懇談会（ホテル松鶴）
- 30日（月）▽鷹巣建設技能組合創立60周年記念式典（市民ふれあいプラザ）
- 31日（火）▽北秋田市公共交通安全協会の協定締結式（本庁舎）▽第1回北秋田市空家対策協議会（本庁舎）
- 2月1日（水）▽県道矢坂糠沢線整備促進期成同盟会要望活動（北秋田地域振興局・能代市）
- 2日（木）▽元秋田県議会議長北林照助氏叙位伝達式（本庁舎）▽第3回秋田県森と水の協会役員会（秋田市）
- 3日（金）▽北秋田市周辺衛生施設組合協議会（米代流域衛生センター）
- 4日（土）▽国際樹氷サミットin山形蔵王（山形県）
- 7日（火）▽あきたシャボン賞味会（ふみきり野カフェ）
- 8日（水）▽鷹巣阿仁地域保健医療福祉協議会（ホテル松鶴）
- 9日（木）▽秋田県国民健康保険団体連合会理事会（秋田市）
- 10日（金）▽北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合協議会（森吉庁舎）
- 11日（土）▽第23回もちっこ市（大太鼓の館）▽第39回北秋田市「建国記念の日」を祝う会（市民ふれあいプラザ）▽新舟見町自治会雪灯りであそぼう（旧北星ポウル駐車場）
- 13日（月）▽北秋田市環境審議会答申書提出（本庁舎）▽県北地域の今後の地域展開に関する意見交換会（交流センター）▽北秋田市小中学校校適正規模・配置再編プラン検討委員会答申書提出（本庁舎）
- 15日（火）▽記者会見（本庁舎）
- 15日（水）▽元森吉町議会議長高嶋昭二氏叙位伝達式（本庁舎）